

家庭学習で進める探究的な学び

～子供たちが、夢中になって、粘り強くチャレンジ～

令和2年5月19日



分散登校のため家庭学習の機会も多くなっていますが、教科書やプリントを活用した計画的な学習に、一週間単位など、少し長いスパンの探究的な学習を加えてみませんか。家庭学習を効果的に組み込んだ総合的な学習の時間の計画の例（イメージ）を作ってみました！

【単元名】食品ロスの問題の解決に向けて、自分達ができる取組を考え、実行しよう。

目指す姿
(イメージ)

知識及び技能	・食品ロスの現状と課題が分かり、それに対する取組をしている人々の思いを知る。
思考力、判断力、表現力等	・食品ロスをなくす方法を考え、有効かどうか判断することができる。 ・自分の生活と結び付け、解決方法を考え、計画を立てることができる。
学びに向かう力、人間性等	・食の問題を自らの問題としてとらえ、何ができるかを考え、世の中に関わろうとする。 ・食品ロスを防ぐ取組を通して、食を大切にしていこうとする。

課題の設定

児童生徒の実態を把握し、興味・関心等から、課題意識をもたせる。



子供たちと学習対象との関わり方や最初の出会わせ方が重要です。創意工夫しながら、教室で学習するのが効果的かもしれません。

食品ロスの問題から、自分ができることを考えよう

日本では年間約600万トンの食品ロスが出る。全世界で8億人が飢えて苦しんでいて、その援助する量の2倍なんだ。

情報の収集

必要な情報を取り出したり、収集したりする。



臨時休業で給食中止

食材が余っている⇒HPで購入を呼びかけている

外出自粛で家庭ごみ増

減らすために、HPで取組が紹介されている

コンビニエンスストアの取組

販売期限が近付いた商品にシール⇒購入でポイント

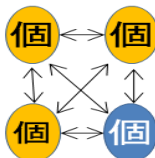
学校での「対話的な学習」だけでなく、家庭学習で、一人でじっくりと自己の中で対話する、本（先哲との対話）や新聞を読む、ICT機器を活用する、電話取材をする等、工夫して取り組むことも効果的です。

整理・分析

収集した情報を整理したり分析したりして思考する。

自分も食品ロスに関わる当事者なのかも

課題の解決に向けて私たちができることって何だろう。課題解決にはどんな「壁」を越えないといけないだろう。



家庭学習で調べたこと・考えたことを、学校で持ち寄り、課題解決の方法を検討・交流しよう

異なる視点からの意見交流により、考えを深めたり、新たな発想を得たりすることが大切です。

感染拡大防止のため、家庭学習でまとめたものを少人数で読み合い、コメントを書き添える等、方法の工夫が必要です。

まとめ・表現

気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。



調査結果をレポートや新聞、ポスターにまとめたり、写真やグラフ、図、動画などを使ってプレゼンを作成する

国語科、音楽科、図画工作科などの教科で付けた力を存分に発揮しよう。

こうした学習活動をスパイラルに繰り返し、自分の人生や将来について考えていくことにつなげていくことが重要です。

作成した資料等を活用して発表する
テレビ会議で関係業界の方の評価を聞く

課題の更新

食品ロスを減らすためには、人々の意識を変えていく必要があるので、今後はそのための取組を考えていこう。

学校で

家庭学習で

学校で

家庭学習で

学校で